(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)公開番号
特開2024-91056
(P2024-91056A)
(43)公開日　令和6年7月4日(2024.7.4)

(51)国際特許分類	FI		テーマコード（参考）
B65D 81/38 (2006.01)	B65D	81/38 P	3E067

審査請求　未請求　請求項の数　4　ＯＬ　（全8頁）

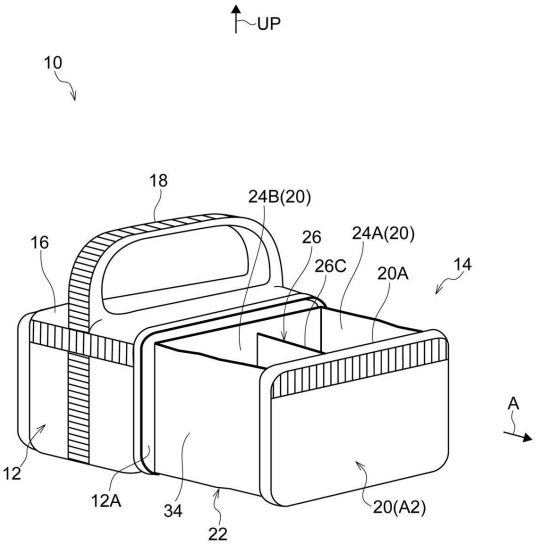
(21)出願番号　特願2022-207339(P2022-207339)
(22)出願日　令和4年12月23日(2022.12.23)

(71)出願人　000003207
トヨタ自動車株式会社
愛知県豊田市トヨタ町１番地
(74)代理人　110001519
弁理士法人太陽国際特許事務所
(72)発明者　竹中 淳
愛知県豊田市トヨタ町１番地 トヨタ自動車株式会社内
(72)発明者　平原 美穂
愛知県豊田市トヨタ町１番地 トヨタ自動車株式会社内

Ｆターム（参考）　3E067　AB26 AC03 BA05A CA07 EB27 EE11 EE43 EE59 FA03 FC01 GA01 GA06 GD01

(54)【発明の名称】　クーラーボックス

(57)【要約】
【課題】クーラーボックスから取り出した物を当該クーラーボックスの側部に収容できるようにする。
【解決手段】クーラーボックス１０は、箱状に形成されたクーラーボックス本体１２と、拡張式収容部１４と、を備えている。拡張式収容部１４は、クーラーボックス本体１２の側部と水平方向に対向して配置された側面部２０と、側面部２０とクーラーボックス本体とを接続する接続面部２２と、を有している。側面部２０がクーラーボックス本体１２に沿って配置されている状態では接続面部２２が側面部２０とクーラーボックス本体１２との間に格納される。側面部２０をクーラーボックス本体１２とは反対側へ移動させることで側面部２０、接続面部２２及びクーラーボックス本体１２の間に上方側が開放された収容空間２４が形成される。
【選択図】図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
箱状に形成されたクーラーボックス本体と、
前記クーラーボックス本体の側部と水平方向に対向して配置された側面部と、前記側面部と前記クーラーボックス本体とを接続する接続面部と、を有し、前記側面部が前記クーラーボックス本体に沿って配置されている状態では前記接続面部が前記側面部と前記クーラーボックス本体との間に格納され、前記側面部を前記クーラーボックス本体とは反対側へ移動させることで前記側面部、前記接続面部及び前記クーラーボックス本体の間に上方側が開放された収容空間が形成される拡張式収容部と、
を備えたクーラーボックス。
【請求項２】
前記収容空間の内部において前記クーラーボックス本体と前記側面部とを接続すると共に、前記収容空間を複数の収容空間に分ける仕切り板をさらに備えた請求項１に記載のクーラーボックス。
【請求項３】
前記接続面部は、前記収容空間の底面を構成する底面部を備えており、
前記底面部が網状に形成されている請求項１に記載のクーラーボックス。
【請求項４】
前記仕切り板の上縁が、前記側面部の上縁よりも下方側に位置している請求項２に記載のクーラーボックス。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、クーラーボックスに関する。
【背景技術】
【０００２】
下記特許文献１には、釣り道具等を入れることができるトレイを効率よく収納することを実現したクーラーボックスが開示されている。この文献に記載されたクーラーボックスの側部には、ポケットが設けられている。このポケットには、エアポンプを収容することが可能となっている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１６－２０８９５３号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
ところで、飲料等をクーラーボックスから取り出した後においては、この飲料等をクーラーボックスの外側のポケット等に収容できるようにすることが望まれる場合が考えられるが、上記特許文献１に記載されたクーラーボックスはこの点を考慮していない。
【０００５】
上記事実を考慮し、クーラーボックスから取り出した物を当該クーラーボックスの側部に収容できるようにすることを本発明が解決しようとする課題とする。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
第１の態様のクーラーボックスは、箱状に形成されたクーラーボックス本体と、前記クーラーボックス本体の側部と水平方向に対向して配置された側面部と、前記側面部と前記クーラーボックス本体とを接続する接続面部と、を有し、前記側面部が前記クーラーボックス本体に沿って配置されている状態では前記接続面部が前記側面部と前記クーラーボックス本体との間に格納され、前記側面部を前記クーラーボックス本体とは反対側へ移動さ

せることで前記側面部、前記接続面部及び前記クーラーボックス本体の間に上方側が開放された収容空間が形成される拡張式収容部と、を備えている。

【０００７】

第１の態様のクーラーボックスは、拡張式収容部を備えている。この拡張式収容部は、側面部をクーラーボックス本体とは反対側へ移動させることで使用可能となる。側面部をクーラーボックス本体とは反対側へ移動させると、側面部、接続面部及びクーラーボックス本体の間に上方側が開放された収容空間が形成される。これにより、クーラーボックス（クーラーボックス本体）から取り出した物を拡張式収容部の収容空間に収容することができる。

【０００８】

第２の態様のクーラーボックスは、第１の態様のクーラーボックスにおいて、前記収容空間の内部において前記クーラーボックス本体と前記側面部とを接続すると共に、前記収容空間を複数の収容空間に分ける仕切り板をさらに備えている。

【０００９】

第２の態様のクーラーボックスによれば、拡張式収容部の収容空間を仕切り板によって分けることができる。また、仕切り板が、収容空間の内部においてクーラーボックス本体と側面部とを接続していることにより、拡張式収容部の形状を保持することができる。

【００１０】

第３の態様のクーラーボックスは、第１の態様のクーラーボックスにおいて、前記接続面部は、前記収容空間の底面を構成する底面部を備えており、前記底面部が網状に形成されている。

【００１１】

第３の態様のクーラーボックスによれば、拡張式収容部の収容空間の底面を構成する底面部が網状に形成されている。これにより、水滴が付着した物を拡張式収容部の収容空間に収容した際に、当該水滴が底面部に溜まることを抑制することができる。

【００１２】

第４の態様のクーラーボックスは、第２の態様のクーラーボックスにおいて、前記仕切り板の上縁が、前記側面部の上縁よりも下方側に位置している。

【００１３】

第４の態様のクーラーボックスによれば、仕切り板の上縁が、側面部の上縁よりも下方側に位置している。これにより、拡張式収容部の収容空間内に物を収容する際に、当該物が仕切り板の上縁に接触することを抑制することができる。

【発明の効果】

【００１４】

本発明に係るクーラーボックスによれば、クーラーボックスから取り出した物をクーラーボックスの側部に収容することができる、という優れた効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【００１５】

【図１】クーラーボックスを示す斜視図である。

【図２】クーラーボックスを示す斜視図であり、拡張式収容部が展開している状態を示している。

【図３】拡張式収容部を斜め上方側から見た斜視図であり、拡張式収容部の展開初期の状態を示している。

【図４】拡張式収容部を斜め上方側から見た斜視図であり、拡張式収容部が図３に示された状態よりも展開された状態を示している。

【図５】拡張式収容部を斜め上方側から見た斜視図であり、拡張式収容部が図４に示された状態よりも展開された状態かつ仕切り板がセットされた状態を示している。

【図６】図５に示された状態のクーラーボックスを水平方向から見た側面図である。

【発明を実施するための形態】

【００１６】

図１～図６を用いて、本発明の実施形態に係るクーラーボックス１０について説明する。なお、図中における矢印ＵＰは、クーラーボックス１０の上方側を示すものとする。

【００１７】

図１及び図２に示されるように、本実施形態のクーラーボックス１０は、クーラーボックス本体１２と、クーラーボックス本体１２の側部１２Ａに設けられた拡張式収容部１４と、を備えている。

【００１８】

クーラーボックス本体１２は、箱状（直方体状）に形成されている。このクーラーボックス１０の上部は、開閉可能な蓋部分１６となっている。そして、蓋部分１６を開閉することで、クーラーボックス本体１２の内部に飲料等を入れる、或いは、クーラーボックス本体１２の内部に入っている飲料等を取り出すことが可能となっている。なお、クーラーボックス本体１２の上部には、クーラーボックス１０の使用者によって把持される把持部１８が設けられている。

【００１９】

拡張式収容部１４は、クーラーボックス本体１２から取り出した物を収容することができる部分である。拡張式収容部１４は、クーラーボックス本体１２の側部１２Ａに格納されている状態（図１に示された状態）からクーラーボックス本体１２とは反対側へ引き出すことで使用可能となる。なお、拡張式収容部１４が引き出される方向を「引出方向」と呼び、矢印Ａで示すことにする。また、引出方向は、水平方向の一方向となっている。

【００２０】

図２、図３、図４及び図５に示されるように、拡張式収容部１４は、引出方向から見た形状がクーラーボックス本体１２の側部１２Ａと対応する矩形状となっている側面部２０を備えている。また、拡張式収容部１４は、側面部２０とクーラーボックス本体１２とを接続する接続面部２２を備えている。さらに、拡張式収容部１４は、当該拡張式収容部１４の内部の空間である収容空間２４を分ける仕切り板２６を備えている。

【００２１】

側面部２０は、クーラーボックス本体１２の側部１２Ａと引出方向に対向して配置されている。側面部２０の上部とクーラーボックス本体１２の側部１２Ａとの間には、図１において二点鎖線で示されたチャック２８が設けられている。また、側面部２０の水平方向の両端部及び下部とクーラーボックス本体１２の側部１２Ａとの間には、図１において二点鎖線で示された面ファスナ３０が設けられている。そして、チャック２８が閉じられると共に、面ファスナ３０によって側面部２０の水平方向の両端部及び下部がクーラーボックス本体１２の側部１２Ａに係止されることで、側面部２０がクーラーボックス本体１２の側部１２Ａに沿って配置されている状態が保たれるようになっている。なお、側面部２０がクーラーボックス本体１２の側部１２Ａに沿って配置されている状態の当該側面部２０の位置を格納位置Ａ１と呼ぶことにする。側面部２０が格納位置Ａ１に配置されている状態では、後述する接続面部２２及び仕切り板２６が畳まれた状態で、側面部２０とクーラーボックス本体１２の側部１２Ａとの間に格納される。

【００２２】

また、図１～図５に示されるように、チャック２８が開けられると共に側面部２０の水平方向の両端部及び下部がクーラーボックス本体１２の側部１２Ａから離脱されることで、側面部２０をクーラーボックス本体１２の側部１２Ａに対して引出方向に移動させることが可能となっている。なお、側面部２０がクーラーボックス本体１２の側部１２Ａに対して引出方向に最も移動している状態の当該側面部２０の位置を最大展開位置Ａ２と呼ぶことにする。側面部２０が最大展開位置Ａ２に配置されている状態では、側面部２０、接続面部２２及びクーラーボックス本体１２の側部１２Ａの間に上方側が開放された収容空間２４が形成される。

【００２３】

接続面部２２は、後述する網状部２２Ａ及び非網状部２２Ｂに対応するシート状の素材を用いて形成されている。この接続面部２２は、収容空間２４の底面を構成する底面部３

２を備えている。また、接続面部２２は、側面部２０及びクーラーボックス本体１２の側部１２Ａと共に収容空間２４の側面を構成する一対の第２側面部３４を備えている。底面部３２の大部分及び一対の第２側面部３４の大部分は、水滴や空気が通過可能な網状に形成されている。なお、底面部３２及び一対の第２側面部３４において網状に形成されている部分を網状部２２Ａと呼ぶことにする。また、底面部３２と一方の第２側面部３４との境目部分は、網状には形成されていない非網状部２２Ｂとなっている。この非網状部２２Ｂは、網状部２２Ａよりも引き裂き強度が高くなっている。また、底面部３２と他方の第２側面部３４との境目部分も非網状部２２Ｂとなっている。

【００２４】

仕切り板２６は、板状に形成されている。この仕切り板２６の水平方向一方側の端部２６Ａは、クーラーボックス本体１２の側部１２Ａにおける水平方向の中央部に縫製や接着等により固定されている。また、仕切り板２６は、水平方向一方側の端部２６Ａをヒンジ部分として傾動させることが可能となっている。仕切り板２６の水平方向他方側の端部２６Ｂは、側面部２０における水平方向の中央部に着脱可能に係止されるようになっている。一例として、本実施形態では、側面部２０における水平方向の中央部に面ファスナ３６が固定されている。そして、仕切り板２６の水平方向他方側の端部２６Ｂが面ファスナ３６に係合することで、仕切り板２６の水平方向他方側の端部２６Ｂが側面部２０における水平方向の中央部に着脱可能に係止される。また、仕切り板２６の水平方向他方側の端部２６Ｂが側面部２０における水平方向の中央部に係止された状態では、仕切り板２６が収容空間２４の内部においてクーラーボックス本体１２の側部１２Ａと側面部２０とを接続する。また、仕切り板２６の水平方向他方側の端部２６Ｂが側面部２０における水平方向の中央部に係止された状態では、仕切り板２６が収容空間２４を２つの収容空間２４Ａ、２４Ｂに分ける。さらに、仕切り板２６の水平方向他方側の端部２６Ｂが側面部２０における水平方向の中央部に係止された状態では、仕切り板２６の上縁２６Ｃが、側面部２０の上縁２０Ａよりも下方側に位置している。

【００２５】

（本実施形態の作用並びに効果）

次に、本実施形態の作用並びに効果について説明する。

【００２６】

図１に示されるように、本実施形態のクーラーボックス１０では、拡張式収容部１４を使用しない場合に、側面部２０を格納位置Ａ１に配置させることができる。これにより、接続面部２２及び仕切り板２６が畳まれた状態で、側面部２０とクーラーボックス本体１２の側部１２Ａとの間に格納される。

【００２７】

図３及び図４に示されるように、本実施形態のクーラーボックス１０では、拡張式収容部１４を使用する場合、先ず、チャック２８を開けると共に側面部２０の水平方向の両端部及び下部をクーラーボックス本体１２の側部１２Ａから離脱させて、側面部２０をクーラーボックス本体１２の側部１２Ａに対して引出方向に移動させる。

【００２８】

次に、図４及び図５に示されるように、側面部２０を最大展開位置Ａ２まで移動させた状態で、クーラーボックス本体１２の側部１２Ａに沿って配置されている仕切り板２６を傾動させて、仕切り板２６の水平方向他方側の端部２６Ｂを面ファスナ３６に係合させる。これにより、仕切り板２６の水平方向他方側の端部２６Ｂが側面部２０における水平方向の中央部に係止される。

【００２９】

以上の手順を経ることにより、本実施形態のクーラーボックス１０では、クーラーボックス本体１２から取り出した物を拡張式収容部１４の収容空間２４（２４Ａ、２４Ｂ）に収容することができる。

【００３０】

また、図５及び図６に示されるように、本実施形態のクーラーボックス１０では、拡張

式収容部１４の収容空間２４を仕切り板２６によって２つの収容空間２４Ａ、２４Ｂに分けることができる。また、仕切り板２６が、収容空間２４の内部においてクーラーボックス本体１２の側部１２Ａと側面部とを接続していることにより、拡張式収容部１４の形状を保持することができる。そのため、例えば、図６に示されるように、クーラーボックス１０を台３８の上に置いた状態で、拡張式収容部１４を台３８の側方側に展開させたとしても、拡張式収容部１４の形状を保持することができる。すなわち、拡張式収容部１４が空中に位置している状態においても、拡張式収容部１４の形状を保持することができる。

【００３１】

拡張式収容部１４が台３８の側方側に展開した状態で、水滴が付着した物を拡張式収容部１４の収容空間２４に収容した場合、図５に示されるように、底面部３２に到達した水滴を網状部２２Ａを通じて下方側へ排出することができる。これにより、水滴が底面部３２に溜まることを抑制することができる。換言すると、本実施形態の拡張式収容部１４では、水滴が付着した物の水切りを行うことができる。なお、本実施形態の拡張式収容部１４では、仕切り板２６を畳んだ状態で、水滴が付着した物を拡張式収容部１４の収容空間２４に収容して、チャック２８（図１参照）を閉めることもできる。この場合、拡張式収容部１４の上部からの異物の侵入を抑制した状態で、水滴が付着した物の水切りを行うことができる。

【００３２】

また、図６に示されるように、拡張式収容部１４の第２側面部３４の大部分が網状部２２Ａとなっていることにより、第２側面部３４の網状部２２Ａを通じて収容空間２４の空気の入れ替えを行うことができる。これにより、水滴が付着した拡張式収容部１４の内部の乾燥を促すことができる。

【００３３】

また、仕切り板２６の上縁２６Ｃが、側面部２０の上縁２０Ａよりも下方側に位置している構成とすることにより、拡張式収容部１４の収容空間２４内に物を収容する際に、当該物が仕切り板２６の上縁２６Ｃに接触することを抑制することができる。

【００３４】

なお、本実施形態のクーラーボックス１０では、仕切り板２６の上縁２６Ｃが側面部２０の上縁２０Ａよりも下方側に位置している構成とした例について説明したが、本発明はこれに限定されない。仕切り板２６の上縁２６Ｃの位置を上記のように設定するか否かについては、拡張式収容部１４の使い勝手等を考慮して適宜設定すればよい。また、仕切り板２６を設けない構成を採用してもよい。

【００３５】

また、本実施形態では、底面部３２及び第２側面部３４の一部を網状部２２Ａとした例について説明したが、本発明はこれに限定されない。例えば、底面部３２及び第２側面部３４の全体を非網状部２２Ｂとしてもよい。

【００３６】

以上、本発明の一実施形態について説明したが、本発明は、上記に限定されるものでなく、その主旨を逸脱しない範囲内において上記以外にも種々変形して実施することが可能であることは勿論である。

【符号の説明】

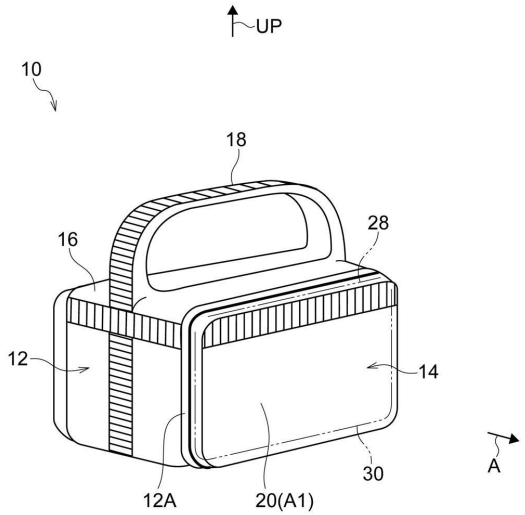
【００３７】

１０　クーラーボックス
１２　クーラーボックス本体
１４　拡張式収容部
２０　側面部
２０Ａ　側面部の上縁
２２　接続面部
２４　収容空間
２６　仕切り板

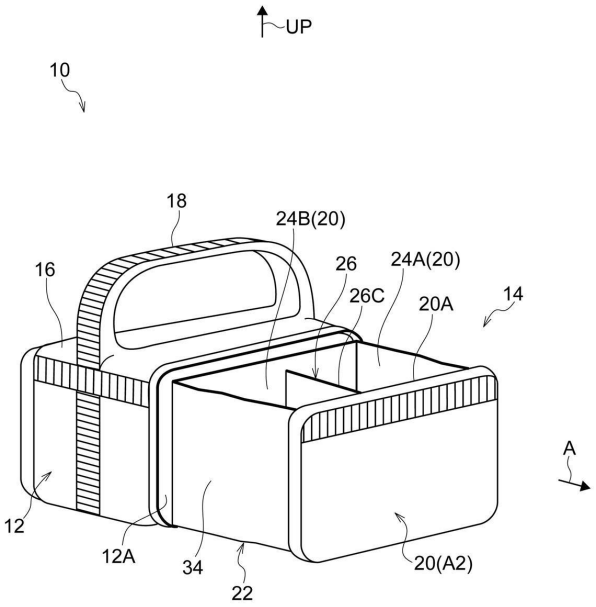
２６Ｃ　　仕切り板の上縁
３２　　底面部

【図面】

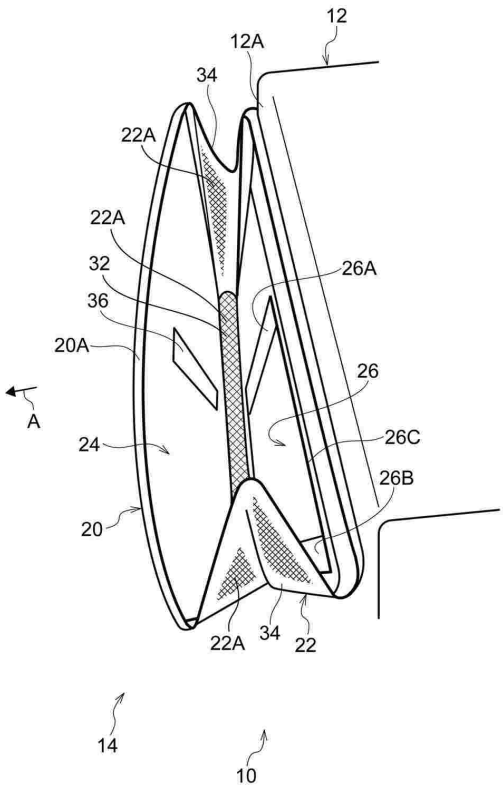
【図１】



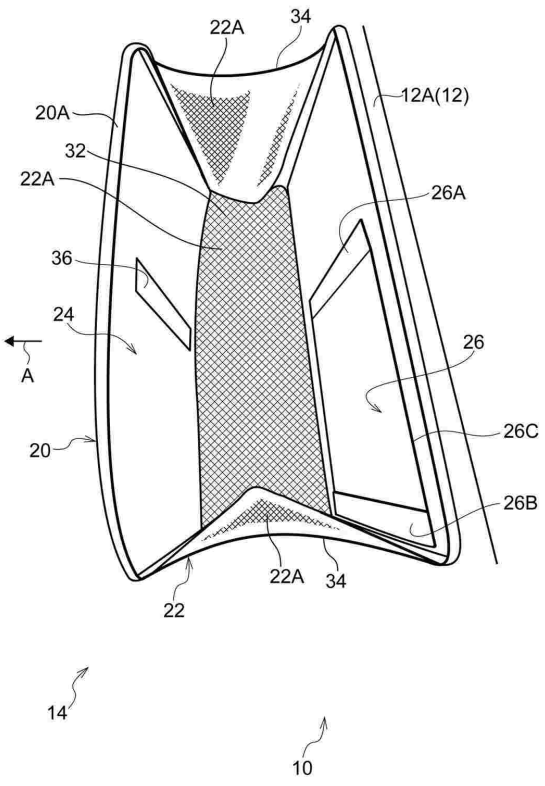
【図２】



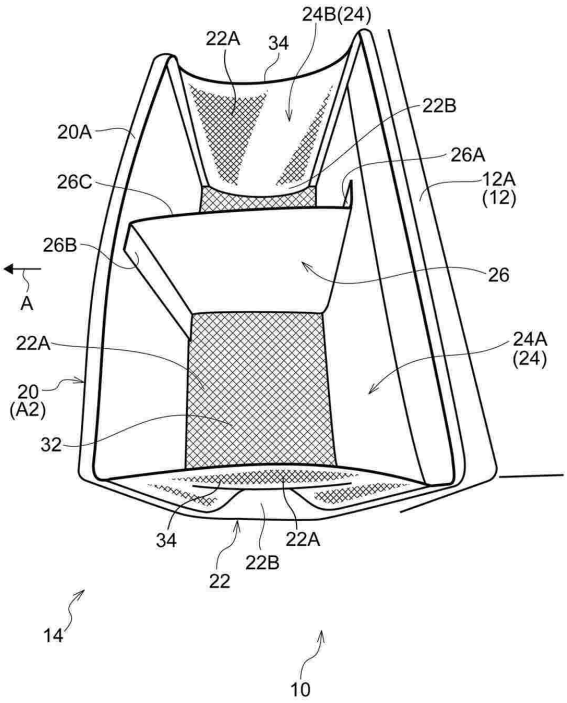
【図３】



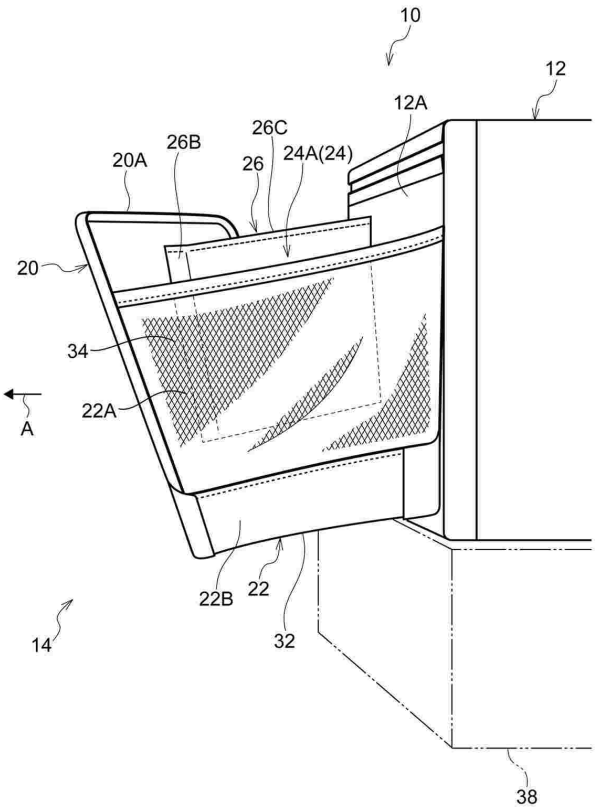
【図４】



【図５】


24B(24)
22A
34
22B
20A
26A
26C
12A
(12)
26B
26
A
22A
24A
(24)
20
(A2)
32
34
22A
22B
22
14
10

【図６】


10
12
12A
26C
26B
20A
26
24A(24)
20
34
A
22A
22B
22
32
14
38